

## 第18回大宮区区民会議 会議録

- 1 日 時 平成29年3月16日(木) 14時00分～15時00分
- 2 会 場 大宮区役所3階特別会議室
- 3 出席者 23名

(委員) 15名

花俣淳一会長、池上明彦副会長、横山千恵子副会長  
鵜籠雅之委員、押田昌敏委員、黒澤昭徳委員、小高明美委員、齋藤泰雄委員、  
諏訪淳嗣委員、高田健委員、福嶋俊樹委員、松岡忠男委員、村上隆子委員、  
山本英夫委員、若生和子委員

(区職員) 2名

伊藤(大宮区長)、田中(副区長)

(事務局) 4名

白石(コミュニティ課長)  
池羽、土井、加藤(コミュニティ課)

(コンサルタント) 2名

森、植田((株)社会構想研究所)

(欠席委員) 6名

井上恵美子委員、井原武志委員、倉上智華委員、  
田代秀一委員、平間保枝委員、星野美子委員

### 4 議 事

(1) 開会

(2) 協議事項

第7期区民会議協議テーマについて～区長への成果発表会～

(3) 閉会

## 5 議事内容

### 区長への成果発表会

これまでの区民会議での協議をまとめ、「大宮の魅力を伝える～駅を核とした歴史と文化 魅力いっぱいのもちづくり～」と題して、区外の人に大宮の魅力を知ってもらう仕掛けづくりについての提案を大宮区長に発表した。

#### 「1. 協議テーマ」(発表者 池上副会長)

まず、第7期区民会議は、共通のテーマとして「大宮の魅力を伝える」を設定し、第12回で発表した協議テーマ①では「大宮区民」に、今回の協議テーマ②では「区外の人」に大宮の魅力を伝える/知ってもらうという形で整理を行ったことが説明された。

#### 「2. 協議のプロセス」(発表者 池上副会長)

協議のプロセスとして、これまでの区民会議の協議の流れの説明と、第15回に行った川越視察の概要の報告があった。

#### 「3. 区民会議からの提案」

##### ◆「Ⅰ. 大宮の魅力を伝える」(発表者 池上副会長)

今回の区民会議からの提案について、「思った以上に大宮が区外の人に知られていない」といった問題意識や協議テーマ①との関連について、総論的な説明があった。

##### ◆「Ⅱ. 街なかの環境」(発表者 横山副会長)

区民会議からの具体的な提案として、主にハード面の整備についての提案の説明があった。[駅前環境、参道や街路・休憩所やトイレ、新区役所、駐車場、スポーツ施設]

##### ◆「Ⅲ. 情報発信」(発表者 横山副会長)

区民会議からの具体的な提案として、主にソフト面での仕掛けづくりについての提案の説明があった。[紙媒体、ネットやICT、案内板、商業・商店街、イベント、ビューポイント、ロケーションサービス、駐車場情報]

#### 「4. まとめ」(発表者 花俣会長)

最後にまとめとして、委員ひとりひとりの「こんな大宮にしたい」、「もっと良い街へ」という思いを、今回の成果発表会へ繋げることができた。区民会議での検討の結果が反映され、大宮がもっとすばらしい街となることを望んでいる。という言葉で締めくくられた。

第7期区民会議の発表を受け、区長からコメントがあった。

昨年の6月の協議テーマ1では、大宮区民の方に大宮の魅力を伝えるということで、幅広い観点から報告いただいた。今回の協議テーマ2では、川越市に視察に行くなどいろいろ勉強をし、それをもとに大宮区外の方に大宮の魅力を伝えるという提案をいただいた。

大宮の地名の由来にもなった氷川神社が、区外の方にあまり知られていないということは、私もショックを受けた。もう少しPRする必要があるのではないかと思った。

これから、区役所や図書館などの建設が始まり、図書館の跡地をどう利用するのかといったことが検討されている。今回提案いただいた内容については、担当に伝えたい。

大宮の周辺は道路が狭く、スムーズな交通が確保できないという課題がある。駐車場の整備やパークアンドライドについても、市の所管に伝え連携して取り組んでいきたい。

今後とも、大宮区の将来像である「うるおいのある高度な生活基盤と氷川の杜の緑と文化が調和するまち」の実現に向けて頑張っていきたいと思う。引続き、いろいろな形で、ご支援ご協力いただきたい。

続く質疑応答では、「行政の区域にとらわれず、もう少し幅広く大宮という地域をとらえる必要がある」「区役所が移転することによって、大宮駅周辺が寂れることがないようにしてほしい」「再開発の情報など、噂で耳にするだけで一般の区民にはなかなか情報が伝わってこない。情報公開を積極的にしてほしい」といった意見が区民会議委員より出された。